

あなたのやさしさを待っているひとがいます。



Niigata College of Nursing

2003

GUIDE BOOK



新潟県立看護大学

看護学部 看護学科

2002年4月開学



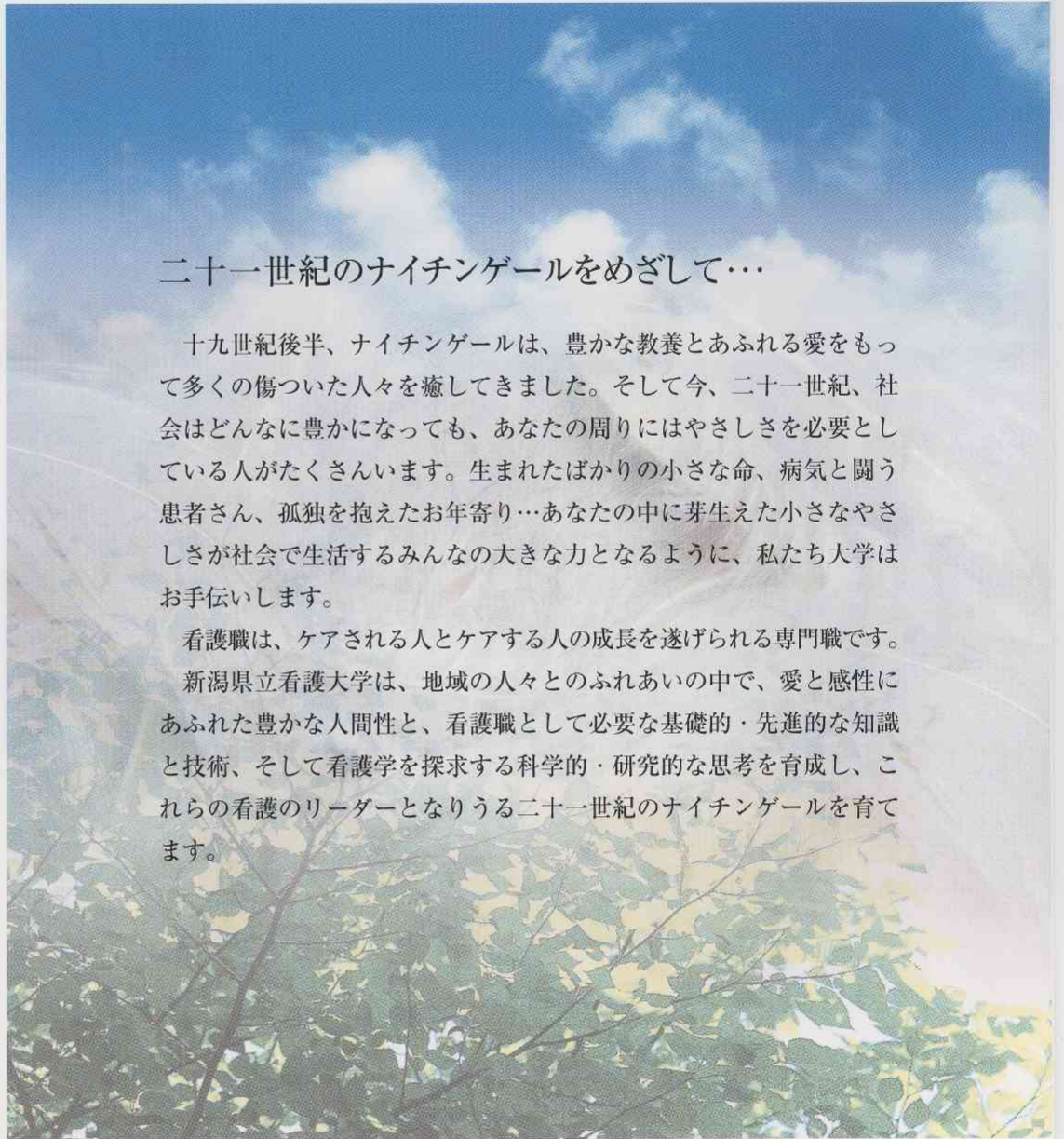
看護にとって何よりも大切なこと、
それは人とひとを結ぶ「こころ」です。

Niigata College of Nursing

二十一世紀のナイチンゲールをめざして…

十九世紀後半、ナイチンゲールは、豊かな教養とあふれる愛をもって多くの傷ついた人々を癒してきました。そして今、二十一世紀、社会はどんなに豊かになっても、あなたの周りにはやさしさを必要としている人がたくさんいます。生まれたばかりの小さな命、病気と闘う患者さん、孤独を抱えたお年寄り…あなたの中に芽生えた小さなやさしさが社会で生活するみんなの大きな力となるように、私たち大学はお手伝いします。

看護職は、ケアされる人とケアする人の成長を遂げられる専門職です。新潟県立看護大学は、地域の人々とのふれあいの中で、愛と感性にあふれた豊かな人間性と、看護職として必要な基礎的・先進的な知識と技術、そして看護学を探究する科学的・研究的な思考を育成し、これらの看護のリーダーとなりうる二十一世紀のナイチンゲールを育てます。





大学で学ぶこと



「人間」を理解することからはじめ、私たちを取りまく様々な生活環境から影響される健康を、看護の視点から学んでいきます。



現代社会の看護に対するニーズは疾病の予防、健康保持から社会復帰、ターミナルケアに至るまで広範囲にわたっています。こうしたニーズに応えられるよう、新潟県立看護大学では知識・技術を備え持ち、人が何を感じ、何を望んでいるのか考え、受け止めることのできる優れた人材を育成します。



専門科目

- 基礎看護学 ●実践基礎看護学 ●小児看護学 ●成人看護学
- 母性看護学 ●老年看護学 ●精神看護学 ●地域看護学
- 看護研究<専門ゼミ・専門実習> ●助産学

●専門科目で学ぶこと

基礎看護学 ▶ 看護の基礎となる理論を学び、看護の本質について探究する。

実践基礎看護学 ▶ 看護実践の基礎となる技術と理論、実践方法を学ぶ。

小児看護学 ▶ 子どもの健康問題を成長・発達に関連させ、その看護について学ぶ。

成人看護学 ▶ 成人期の急性的・慢性的な健康問題とその看護について学ぶ。

母性看護学 ▶ 女性や新生児の健康問題とその看護について学ぶ。

老年看護学 ▶ 老年期の健康問題や、加齢過程とその看護について学ぶ。

精神看護学 ▶ こころの健康問題とその看護について学ぶ。

地域看護学 ▶ 地域で生活する人々の健康問題とその看護について学ぶ。

専門支持科目

- 人間と生活領域…人間と社会の関わりを知る。
- 人間と情報領域…情報社会で生活するための知識と技術を習得する。
- 看護の基盤領域…看護に必要な医療・福祉・保健についての知識を習得する。

基礎科目

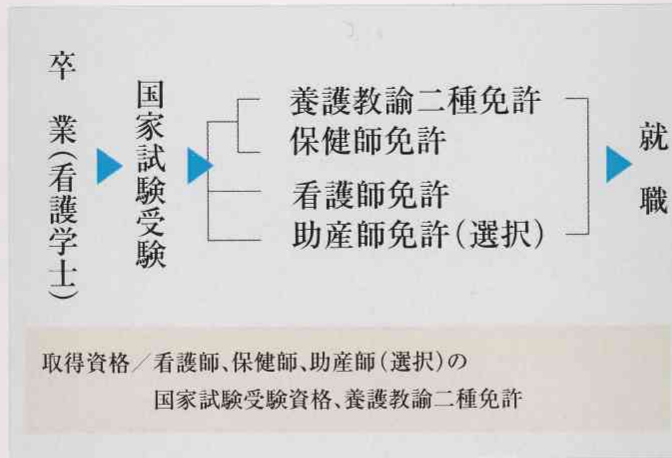
- 人間と文化領域…人間と文化の関わりを知る。
- 人間と自然領域…人間と自然科学の関係を知る。
- 英語 ……国際的視野に役立つためのコミュニケーション手段としての英語を身につける。
- スポーツ ……スポーツを通して健康を学ぶ。
- 基礎ゼミナール…知的探求技術を身につける。

総合科目

看護に関係の深いコミュニケーションと情報化社会について学際的に学ぶ。



卒業後の進路



- 医療機関
- 保育所
- 企業の健康管理室
- 研究施設
- 看護の教育機関
- 老人保健施設や特別養護老人ホーム
- 保健所や市町村
- 訪問介護ステーション
- 学校の保健室
- 海外での援助活動

キャンパス ライフ



豊かな自然とあたたかい人に囲まれて、
貴重な学生生活を送ることができるキャンパスです。

大学開学に併せて、大講義室や看護
研究交流センターなどを配置した新棟
の建設が、着々と進んでいます。



図書館

採光のよくとれたゆったりとしたフロアは2階構造で、教育・研究に必要な図書や雑誌、視聴覚資料などが豊富に揃っています。閲覧席は1階が81席、2階は32席で、他にAV室も設置され教材もより充実しています。



レセプションホール

3階まで吹き抜けの広々とした空間は学生の交流の場でもあります。音響効果に優れた建物構造を活かした演奏会などにも利用できます。



ホール

講義時には2つの講義室として使用されます。また、研究発表会や式典にも利用することができ、プラズマディスプレイ等最新の視聴覚器材が整備されています。



LL教室

日常の会話から始まり、看護場面や健康に関する話題の場面において、英語で会話ができる力を養います。



情報科学教室

パーソナルコンピュータを使用し、文書作成、表計算、データベースの検索、作成等についての演習を行います。



基礎ゼミナール

1年次に開講される少人数ゼミナールで、看護を科学的に追求するための知的探求方法を身につけることを目的とします。

新潟県立看護大学が めざすこと。



いのちの大切さ、ひとの喜びや悲しみを理解できる豊かな人間性。

看護にとって何よりも大切なこと、それは「こころ」です。新潟県立看護大学では、人の喜びや悲しみをわかちあえる豊かなこころを育てます。

あらゆる生活場面に対応できる技術と知識、そして科学的判断力を養います。

深い洞察力をもって自己成長への志向を育むとともに、基礎的・先進的知識と技術を学ぶことにより、多様に変化する人々の健康と時代のニーズに柔軟に対応できる人材を養成します。

看護を保健・医療・福祉の総合的な角度から見つめ、
コーディネートできる能力を身につけます。

保健・医療・福祉の総合的な視野を持ち、関連分野の人々と連携・協力して行われる実践を通して、全体を調整・管理できる能力を身につけます。

コミュニケーション能力を養い、社会の変化を察知する。

多様化する情報を的確に捉え、自らも学習を積み重ねながら正しく発信する能力を身につけます。

グローバルな視野で物事を考えることのできる、国際派の人間に。

地域や国を越え、看護の活躍の場がますます広がる中、語学力とともにこれからの国際社会で活躍できる人材を育てます。

◆平成15年入学試験の概要

<募集人員>

入学定員	特別選抜入試			一般選抜入試	
	推薦入試		社会人特別 選抜入試	前期	後期
	一般	衛生看護科			
90名	28名	2名	若干名	50名	10名

※一般選抜入試前期試験の募集人員には、社会人特別選抜の若干名を含む。

<個別試験科目>

区 分	特別選抜入試		一般選抜入試	
	推薦入試 (一般・衛生看護科)	社会人特別選抜 (自己推薦)	前期	後期
個別試験 科 目	小論文(英文資料の読解を含む) 面接		小論文 面接	
試験会場	新 潟 県 立 看 護 大 学			
出願期間	H.14 11/1~11/11		H.15 1/27~2/5	
試験期日	H.14 11/24		H.15 2/25	H.15 3/12
合格発表	H.14 11/29		H.15 3/6	H.15 3/20

※一般選抜入試を出願する方は、平成15年度大学入試センター試験で
本学が指定する教科・科目を受験する必要があります。





Niigata College of Nursing

募集要項の請求方法について (9月より配布いたします)

平成15年度入試に係る募集要項の請求方法については、下記により請求してください。

■ 本学に直接請求する場合

- (1) 請求先 〒943-0147
新潟県上越市新南町240番地
新潟県立看護大学 教務学生課 TEL.025-526-2811
- (2) 請求方法 請求者の郵便番号、住所及び氏名を明記した角2型の返信用封筒に下記(3)に記載されている切手を貼り請求してください。
また、請求する資料について、推薦入試の要項が必要な場合「推薦募集要項請求」と推薦入試と一般入試の双方の要項が必要な場合は「推薦・一般募集要項請求」と必ず朱書きしてください。
- (3) 郵送料等 上記(2)により募集要項を請求される場合
・推薦入試の要項が必要な場合 270円分の切手
・推薦入試と一般入試の双方の要項が必要な場合 390円分の切手
を必ず返信用封筒に貼付してください。その他の費用は必要ありません。

■ 郵便局で請求する場合 (9月より案内開始)

郵便局に設置されている「全国 国公立大学・短期大学、私立大学・短期大学募集要項 (願書) 請求申込み」(入学願書ゆうパックカタログ)に必要事項を記入の上、郵送料と払込手数料を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込んでください。

■ テレメールで請求する場合

- (1) 最寄りの地区に電話をしてください。
- | | |
|-----|--------------|
| 東京 | 03-3222-0102 |
| 名古屋 | 052-222-0203 |
| 大阪 | 06-6222-0102 |
- (2) 資料番号6桁をダイヤルしてください。
後は音声ガイドに従ってください。

資料名	資料番号
大学案内	568753
大学案内・募集要項	548853

新潟県立看護大学 看護学部 看護学科

住 所 / 新潟県上越市新南町240番地
問い合わせ先 / 〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地
新潟県立看護大学 教務学生課
TEL 025-526-2811 FAX 025-526-2815 E-mail kyoumu@niigata-cn.ac.jp

